

2008年(平成20年)8月13日 水曜日

天井裏に木炭 騒音防ぐ効果灰

出雲カーボンと島大、共同研究

出雲市下古志町の木炭製造
販売会社出雲カーボン(石飛
裕司社長)と島根大は、袋詰
めした粒状の木炭を天井裏の
空間に敷き詰めると、上階の

床からの衝撃音を低減できる
ことを共同研究で確かめた。
同社は室内の湿度を調節する
木炭製品「炭八」を改良し、
防音に最も効果的な木炭の

シヨン19棟の天井に置いて
いる。入居者から「騒音を防
ぐ効果もあるようだ」との声
が寄せられ、同年から島根大
と共同研究を始めた。

防音に最も効果的な木炭の
大きさや量、設置する袋の数
を調べた。今年5月、1平方
メートル当たり6袋の製品を天井に
敷き詰めた実験で、何もない
時に比べ63ベル(帯域の騒音を約
5dB軽減することを確かめ

月から売り出す。
炭八は解体した家の廃材
が原料。温度調節のほか、カ
ビやダニの発生を抑える商品
として04年から出雲市内のマ
ンション19棟の天井に置いて
いる。入居者から「騒音を防
ぐ効果もあるようだ」との声
が寄せられ、同年から島根大
と共同研究を始めた。

防音に最も効果的な木炭の

半減させる効果があるとい
う。床の厚みを増して防音す
るのに比べ手軽で、既存の建
物でも対応できる。

共同研究した中尾哲也・島
根大総合理工学部教授は「打
8)」へ。

つ手がなく我慢するしかなか
った騒音を炭という安全で安
心な物で防げるようになっ
た」と話した。石飛社長は
「騒音問題を解決する、消費

者に喜ばれる高付加価値の商
品を開発できた」と話した。

1袋3500円。来年5月
末までに8千万円の販売を目
指す。問い合わせは出雲カー
ボン(0853・24・880